

文章題テスト・説明文(3)

日 月 名前

★ つぎの文しようを読んで、あとの問いに答えましよう。

ミミズは、おもに土を食べて生きています。一日に、自分の体重の半分くら同じくらしいの量の土を食べるといふのですから、おどろきです。

食べた土は、ふんとなつて体のそとに出されます。ふんには、植物が育つためのえいようがたくさんふくまれています。また、ミミズが土の中をうごきまわること、すきまができ、空気や水の通りがよくなります。つまり、土をたがやすはたらきもしてくれているのです。

3 ミミズがげんきだと、土や植物もげんきになると言えるかもしれませぬ。

(段野 松子「自然にムダなんてない！」による)

1 線1 「おどろき」とありますが、どのようなことにおどろいているのですか。つぎの [] に当てはまることばを、文中から書きぬきましよう。

ミミズが、一日に、ものすごい量の [] こと。

2 線2 「うごきまわる」は、「うごく」と「まわる」をつなげたことばです。同じように、つぎのことばをつなげて、一つのことばを作りましよう。

① 「なく」と「さげぶ」

[]

② 「とぶ」と「はねる」

[]

3 線3 「ミミズがげんきだと、土や植物もげんきになる」のは、なぜですか。つぎの [] に当てはまることばを、それぞれ文中から書きぬきましよう。

ミミズの [] には [] がたくさんふくまれており、

また、ミミズがうごきまわること、 [] ことに

なるから。

